

幼児文化芸術

幼児期ならではの本物体験

この程、幼稚園教育要領および小学校・中学校の学習指導要領等が改訂されますが、いくつか挙げられた主な改善事項に「伝統や文化に関する教育の充実」が盛り込まれています。幼児教育にとって大切なのは実際に感じるここの出来る体験学習です。文化芸術においても同様で、可能であれば一流の本物体験が望ましいものです。

さて幼児文化芸術協会において、その道のプロを招いての体験活動を行っています。その多くが四〇五十分程のプログラムとなっています。この時間内に導入・鑑賞・体験・お話しなどの内容が盛り込まれ、子どもたちは飽きることなく楽しめるようになっています。

この時間配分が絶妙で、体験後は子どもたちから「もっとやりたかった」という声がよくあがります。この腹八分目具合が重要で、もう少しやりたかったという欲求により子どもたちの記憶に体験内容が残ります。そしてそれが小学校以降から成人へ向け、文化芸術を学んでいくうえでの興味・関心へとつながっていきます。日本を含めた世界中の国々についての学びへと続いていくてくれるであらう。そんな願いを持っていきますし、実際に多くの子どもたちの支えになっています。

小幡あさひ幼稚園 副園長 白井 邦彰

2017年11月吉日
第14号

発行:



一般財団法人
幼児文化芸術協会

会員園ご紹介

- 栄光八事幼稚園 (天白区)
 - 小幡あさひ幼稚園 (守山区)
 - 志だみ幼稚園 (守山区)
 - とみよし幼稚園 (愛西市)
 - 名古屋西幼稚園 (西区)
 - 鳴海ヶ丘幼稚園 (緑区)
 - 美里幼稚園 (豊田市)
- ※50音順

志だみ幼稚園

日本の美・再発見

五月に「ジャンベ」・七月に「フラ」を体験しました。また、十一月には「抹茶」・一月「マリンバ」・二月「ヒップホップ」を予定しています。幼児文化芸術協会に賛同して集まったそれぞれの幼稚園さんと同様、子ども達が様々な文化芸術体験ができることに喜びを感じています。

本園では、幼児文化芸術体験を3年間の中で計画をして、講師の先生を選んでいきます。こどもにとっては、3年間であった一回の体験となるものもあります。また、内容によっては保護者の方も自由参加と一緒に生の体験をしてみたい機会も作っています。お母様方にとっても子どもと同じ時間を共有できるすばらしい場所となっていることが魅力の一つといえます。



もう一つの魅力は、ただ演奏を聴いたり話を聞いたりするだけではなく、実際に自分自身で触れて体験できることです。五月の「ジャンベ」(アフリカの民族楽器)の回でも、講師のムロさんに合わせて太鼓を叩いたり手拍子をしたり...と、誰もがお客様ではなく、一体となって遊びのひとつとして貴重な体験ができることがとても嬉しく思えた一日でした。

会員園 トピックス

とみよし幼稚園

クラシックバレエ

二学期が始まり最初のプログラムは「バレエ」でした。「バレエ」と聞き「バレエ?」何人かあり、笑い声が響きました。ホールに入り、床に腰を下ろしてのストレッチです。子ども達は身体が柔らかく指がつま先に届きますが、教師達はウンウン唸っても手がつま先に届きません。

ストレッチの後は、手を上に伸ばしたままで片足立ち、そして左右への回転など、先生の動きを見ながら実際に身体を動かします。

テンポ良く色々な動きをするなか、一番決まっていたのはポーズを付けて挨拶をするところです。女子はスカートをもちながら、男子は手を胸に当ててのお辞儀をします。

「子ども達が関心を示してくれるかな?」と、始まる前はちよつと心配でしたが、いざ始まってみますと、ストレッチの段階から、どの子どもも嬉しそうに身体を動かしています。やはり身体を動かすプログラムは楽しいようです。



Information

第5回夏季保育者研修会開催!

各分野の講師の方をお招きし文化芸術7'07'を体験しました。

- * 『日本の美しい言葉と話し方』講座～野田 育子 先生～
- * 『くちびるに歌を♪』歌唱指導～神谷 舞 先生～
- * 『安田式体育指導方』体育指導～居間 達彦 先生～



第6回 幼児文化芸術祭

日時:2018年3月25日(日)
午前11:15～12:15
場所:愛・地球博記念公園
(モリコパーク)内体育館
内容:「親子ダンス会」
「第九コンサート」
出演

